

## 2009 年度決算説明会 主な Q&A

Q: ユニオンバンクの今後の買収は西海岸が中心か、米国内の他の地域に拡大する考えは。

A: 今後の買収は、基本的に西海岸中心に考えている。ポイントはユニオンバンクにとってシナジーが発揮できる案件かどうか。FDIC 案件は今年も多数出てくると思うが、案件は常に分析を行なっている。入札なので必ず買収できるわけではないが、シナジーのある案件には積極的に参加する考え。

Q: アジア戦略について、欧米主要行との比較で、MUFG の競争優位性はどうか。

A: 中国、香港、シンガポール、インドネシアなどでは、グローバルプレーヤーと少なくとも互角以上の競争力がある。例えば中国では、外銀で初めて元建て金融債を発行した。リテール業務は行なっていないが、ホールセール業務では外銀中ベスト3に入る。一方インドは、現在本格的に取り組んでいるところだが、改善の余地大。例えば 中国のように現地法人を作って独立的に経営させるというやり方も検討に値すると思っている。

Q: 現在の資本レベルをどのように評価しているか。戦略的投資のための資本余力はあるか。

A: Tier1 資本から優先株と優先出資証券を控除した定義によるコア Tier1 資本比率は 8.2% であり、さらに繰延税金資産を引いても 7.6% 程度。新自己資本規制はまだ固まっておらず、今の段階でこの資本レベルが十分かどうかはコメントし難いが、どのような規制になっても対応可能な水準と思っている。

投資のための資本余力については、通常の投資案件は 10 億ドルに満たないものが殆どであり、特に資本が制約要因になることはなかろう。

以 上